

入学後の案内（大学院）

資料名をクリックまたはタップすると、
該当資料のページにジャンプします。

- 健大通信
- 藤波（図書館報）
- 通学について
- 学生教育研究災害傷害保険について

健大通信



Vol. 45
KENDAI NET
Spring 2026

【編集・発行】高崎健康福祉大学 〒370-0033 群馬県高崎市中大類町37-1 <https://www.takasaki-u.ac.jp>



TOPICS

Well-being社会の実現とアドバンスト・エッセンシャルワーカーの育成 —AI時代を切り拓く「対人支援」のプロヘー

高崎健康福祉大学 学長 石田 朋靖 Tomoyasu Ishida

1. 私たちが立っている「歴史の転換点」

今日、私たちは歴史の大きな転換点に立っています。少子高齢化や人口減少はもはや予測ではなく、いま現実として直面している課題です。これに呼応するように、生成AIをはじめとするデジタル技術は驚異的なスピードで進化し、私たちの暮らし、働き方、そして学びのあり方を根底から変えつつあります。

利便性が向上する一方で、社会システムには綻びが生じています。とりわけ、人の生命と生活を支える医療・福祉・教育・食・農といったエッセンシャルな領域では、担い手不足が深刻化するとともに、ニーズの多様化により業務の高度化・複雑化が急速に進んでいます。従来の教育や訓練の枠組みだけでは、複雑に絡み合った現代社会の課題に十分に対応することは困難になってきました。

不確実性が高まる時代において、本学が果たすべき役割は、単なる知識や資格の付与にとどまりません。現場の痛みを知り、他者の課題に主体的に向き合い、新たな解を導き出せる人材を育成することこそが、今まさに求められているのです。

2. 「Well-being（ウェルビーイング）」という共通のゴール

本学が教育の中核に据えている理念、それが「Well-being社会の実現」です。Well-beingとは、単に病気ではない状態を指すものではありません。個々人が身体的、精神的、そして社会的に満たされ、自分らしく生きる喜びを実感できている状態を意味します。

それは個人の幸福にとどまらず、地域コミュニティの安定や社会の持続可能性を支える重要な基盤です。「誰もが排除されることなく、健やかに生きられる社会をいかに構築するか」---この問いへの答えを模索することこそが、本学の教育研究の原動力です。

3. 「心・身体・社会」をトータルで支える学び

本学は、これまで多角的な視点からWell-beingを追求してきました。看護、理学療法、薬学、健康栄養、農学といった科学的知見に基づいた「身体の健康」、社会福祉や子ども教育の実践を通じて支える「社会の健康」、そしてそれらをデータの力で統合し実装する情報学の力です。これらは人間が生きていくための重要な柱となります。

一方で、近年ますます重要性を増しているのが「心の健康」です。不安やストレス、孤立といった心理的課題は、あらゆる現場に深刻な影を落としています。たとえ身体や環境が整っていても、心が満たさ

れなければ真のWell-beingは達成されません。

そこで本学は、新たに心理学科を設置しました。これにより「心・身体・社会」を総合的に支える体制が整いました。心理学は特定の専門職のためだけの学問ではありません。科学的手法で人を理解し、支える英知は、すべての対人支援職に共通して求められる基礎的かつ不可欠な素養なのです。

4. テクノロジーと人間の「真の共生」

さて、これからの社会においてはAIやICTとの共生は避けて通れません。現場の効率化や高度なデータ分析を進めるには、デジタル技術は不可欠な存在です。しかし、どれほどAIが進化しても、対人支援の「中核」を代替することはできません。

相手の繊細な感情を読み取り、行動の背景にある文脈を理解し、寄り添いながら最善の選択を模索し、その結果に責任を負う---こうした営みは、人間に固有の「知性」と「倫理性」に根ざしています。むしろテクノロジーが普及するほど、信頼関係を築く力や心理的安全性を保つ知見の価値は、相対的に高まっていくでしょう。

5. アドバンスト・エッセンシャルワーカー（AEW）の育成

こうした考えに基づき、本学が育成を目指す人材像が「アドバンスト・エッセンシャルワーカー（AEW）」です。社会に不可欠な基幹分野において高度な専門性を持ちつつ、AI・ICTを道具として主体的に使いこなし、複雑化した現場の課題を解決できる、高度なレベルのプロフェッショナルを指します。

AEWは単なるルーチンワーカーではありません。人間の判断と倫理を中核に据え、テクノロジーを「人の幸せ」へと結びつける変革の担い手です。本学では、専門分野の枠を超えた「対人理解力」「協働力」「Well-being志向」を体系的に育み、AEWの養成を進めていきます。

6. 未来に対する私たちの使命

本学には、学科を越えた柔軟な学びや、分野横断的に課題に挑む多職種連携教育（IPE）の伝統があります。私たちが養成するのは「AIに代替される」ことを不安に思うような人材ではありません。幅広い視野のもと「AIと共に、人間と社会の価値を最大化する」人材です。

心理学的アプローチを一層充実させた今、Well-being社会を支えるAEW人材を送り出し続けること。それこそが、本学が未来に対して果たすべき最も重要な教育的使命であると確信しています。

学科
Topics

01

診療情報管理士の活躍を広げるための支援

医療情報学科 准教授 大川喜代美

本学科の医療コースを目指す学生は、コロナ禍以降減少傾向にあります。そこで本学科では、情報分野の知識・技能を習得し医療コースを志す学生を対象に、診療情報管理士認定試験合格後の更なる資質向上と、就職後に即戦力として活躍できる人材育成を目的として、集中講義、特別ゼミ、通信講座など各種講座を開講しています。

1. がん登録実務初級者認定試験

「がん登録等の推進に関する法律」が施行されて10年が経過し、現在は全国すべての病院でがん登録は行われています。本学科では即戦力となり得る人材の育成を目的として、診療情報管理士合格者を対象に、がん登録実務初級者認定試験対策の集中講義を4年次前期に開講しています。なお、昨年度は3名が合格しました。

2. DPCコース

病院の診療報酬請求業務で用いられるDPC (DPC/PDPS : (Diagnosis Procedure Combination / Per-Diem Payment System)) では、まず主傷病名にICD (国際疾病分類) コードを付与します。診療情報管理士は、このDPC業務を主導的に担う職種です。本学科では、診療情報管理士認定試験に合格した者が実務を学ぶことのできる日本病院会の通信教育を4年次前期に受講しています。なお、昨年度の修了者は4名でした。

3. 医事コンピューター、電子カルテシステム演習

医療教育統合システム「医事naviⅢ」を導入し、模擬診療記録を用いて、病院実務と同様の電子カルテ入力、医師事

務作業補助者業務、診療報酬明細書(レセプト)作成、会計業務などの模擬演習をPC上で行う特別ゼミを実施しています。病院事務職である診療情報管理士は、医師や看護師とは異なり医療行為を行うことはできません。しかし、今回紹介した「がん登録実務初級者」や「DPCコース」を修得することで、病院におけるAEM (Advanced Essential Worker) として、医療現場を支える人材となることが期待されます。



▲医療教育統合システム初期画面

学科
Topics

02

地域連携によるメイクアップ・ビューティーハンドケアボランティア

社会福祉学科 助教 六本木 麻奈

社会福祉学科では、地域連携活動の一環として、メイクアップ・ビューティーハンドケアボランティアを実施しました。本活動は、特別養護老人ホームおよびメイクアップサロンの協力に加え、本学ボランティア・市民活動支援センターの支援を受けて行われたものです。

事前講習では、サロンスタッフの指導のもと、ハンドケアの手順や注意点、道具の使い方について学び、高齢者に安全で快適なケアを提供するための準備を行いました。

当日は学生が会場設営や準備、ハンドケア、片付けを担当し、利用者の方々がメイクアップを受ける様子を見学しました。この活動を通して、学生は高齢者との関わりや、福祉現場におけるコミュニケーションの大切さについて理解を深めました。社会福祉学科では、今後も地域と連携した実践的な学びの機会を継続していきます。

こうした体験は、将来さまざまな進路において、人と関わる場面での学びとして活かされることが期待されます。学生にとっては、学内の学びを実際の場面で確認する機会にもなりました。



▲学生が活動に取り組む様子①



▲学生が活動に取り組む様子②



▲事前講習の一場面



▲活動前の打ち合わせの様子

学科
Topics

03

1年生から地域で活躍！食育教材づくりで学ぶ
『伝える力』と『栄養の専門性』

健康栄養学科 教授 大家千枝子

令和7年度「管理栄養士論Ⅰ」（1年次・通年・必修）の後期授業では、県内自治体と連携した地域連携型の食育活動を実施しました。今年度は、下仁田小学校および学校給食センターと協働し、食育プログラムを展開しました。

この取り組みは、地域食材を活用した食育プログラムを通して、大学生が小学生に「食と健康」の大切さを伝えることを目的としています。限られた授業時間の中で、1年生約80名が5人1組となり、それぞれ1つのテーマを担当しました。栄養学を学ぶ立場と若い視点を生かし、食育動画とリーフレットを制作しました。制作にあたっては、動画制作の専門講師や2年生を含むコアメンバー学生から技術面・構成面の指導を受け、試行錯誤を重ねながら完成度を高めました。

さらに、学校給食センターや栄養教諭から、内容の正確性や小学生への伝え方について助言をいただき、教材を改善しながら、より実践的で分かりやすい食育プログラムへと発展させました。完成した動画教材とリーフレットは給食とのコラボレーションを通じて小学校で活用され、子どもたちが楽しみながら地域の食文化や栄養、有機農業について学ぶ機会となりました。給食の時間に、小学生が笑顔で動画を視聴し、友だち同士で話し合う姿も見られました。

この取り組みを通して、小学生は地元の食材への理解を深めるとともに、健康的な食生活の大切さを自然と身につけることが期待されます。また、学校給食センターや栄養教諭からのフィードバックにより、学生自身も自らの成果を実感し、大きな達成感と学びを得ることができました。「食」を介した世代間のつながりを育み、地域の未来を支える食文化の継承につなげていきたいと考えています。



▲昨年度協働開発した鍋つゆを使ったコラが給食



▲グループごとそれぞれのテーマについて作業



▲現地視察・道の駅しもにた1年生集合写真



▲コアメンバーが代表して小学校で挨拶



▲動画QRコードつきのリーフレットが冊子として完成



▲給食の時間に流れた食育動画



▲現地視察・下仁田ねぎ祭りでも岩崎町長と記念撮影



▲コアメンバーによる有機農家さんへの取材

学科
Topics

04

進化する薬学部国際交流プログラムで
深化するフレンドシップ

薬学科 教授 中西 猛夫

アイルランドTrinity College of Dublin (TC)と本学との間で国際交流の覚書が締結されてから、R8年度で5年目になります。薬学科とTCD薬学部間で人的交流の一環として、R5年に2名のTCD学生を短期研究留学生として受け入れて以来、毎年9月には本学科の学生をダブリンに派遣してきました。現在、学科年内行事の一つとして定着しつつあります。昨年度は、5月18日から8週間、TCD薬学部の3年生を修了したばかりのDaniel Herron君とAine Balfeさんの二人が本学薬学科を訪れました。両者ともにアイルランド出身で、Daniel君は分子動態制御学研究室（筆者の研究室）、Aineさんは分子薬化学研究室（峯野研）に所属し、本学科の卒研究生と一緒に研究に励みました。滞在中は、所属研究室主催の歓迎会や研究セミナー、漢方薬局見学、草津温泉など高崎市郊外への日帰りツアーなど、数多くのイベントが実施されました。

留学生と接した卒研究生には最初、言葉の壁が大きかったようですが、毎日顔を合わせているうちにお互い打ち解けてきて、自然に和気藹々とした雰囲気醸成され、研究と交流が同時に加速していきました。二人の留学生が日本好きなこととプラスに働いたのは事実ですが、今回の国際交流で目を見張ったのは、英語が得意でない卒研究生達が留学生に英語で話しかけ、研究という共同作業を通じて、自然にフレンドシップが構築されていたことです。卒研究生に立ちはだかっていた言葉の壁はいつの間にかに消え、学生同士でご飯を食べに行ったり、遊びに行ったりするようになりました。最終週に薬学科の教員と学生が主催した送別会では、健大グッズが記念品として贈呈



▲留学生と一緒に薬学で研究セミナー（正面 Aine、正面右 Daniel）



▲送別会で寄せ書きを贈る卒研究生

筆者は「世界を知り、自分の生きる世界が広がる」をモットーとする国際交流を推進し、国際薬学人材の育成を究極の目的にしています。まだまだ、薬学科での国際交流への関心は低く、外国人とのコミュニケーションに抵抗を感じる学生は少なくありません。薬学生のニーズを反映させた国際交流の在り様を吟味し、より良い方向へさらに進化させ、フレンドシップを深化させていきたいと考えております。

最後に、薬学国際交流にご協力を賜りました国際交流センター、薬学教職員の皆様にご場を借りて厚く御礼を申し上げます。

学科
Topics

05

産後の母子の観察・ケア技術演習
「リプロダクティブヘルス看護学演習」紹介

看護学科 教授 寺口 顕子

リプロダクティブヘルス看護学では、思春期から老年期までの女性とそのパートナー、乳児を育てる家族、それらの人々が生活する地域社会を対象として、『性と生殖に関する健康と権利（リプロダクティブヘルス/ライツ）』の視点から看護を学びます。

2年後期の演習では、妊婦・出産後の女性・新生児の模擬事例を用いて観察・ケアに必要な知識・技術を学んでおり、12月に3つの実技演習を行いました（写真は①と③です）。

①新生児の呼吸・心拍を観察するシミュレーターや新生児モデルを用い、呼吸と心拍、黄疸、体重の観察技術を学びました。新生児の心拍数は新生児用の聴診器により1分間カウントします。正常値（110-160/分）の知識はあっても、「速くて途中で分からなくなる」との声も聞かれ、真剣な表情で聴診を行う姿が見られました。

②産後早期における子宮の回復について、モデル人形を用いて観察しました。

③母子が快適で効果的・安全に授乳するためのポイントを学習しました。少子化に伴い、実習で産後の母子に関われる機会が限られる現状にあります。シミュレーションを活用した演習を通して学生が観察・ケア技術を学び、適切に実施することにより、看護実践能力を修得できるよう支援していきます。



▲①新生児の聴診



▲③-1 授乳支援 抱き方



▲③-2 げっぷのさせ方

学科
Topics

06

理学療法学科にて初級パラスポーツ指導者養成コースが始まります

理学療法学科 助教 高橋 裕子

理学療法学科では、令和8年度入学生からの新カリキュラムに合わせ、日本パラスポーツ協会が認定する『初級パラスポーツ指導員養成コース』を開講します。本コースでは、障がいのある方が安心・安全にスポーツを楽しむための健康管理や安全管理、指導の基礎について、実践経験が豊富な教員から体系的に学びます。

学内での学びにとどまらず地域と連携した実践の場として、理学療法学科の学生が主体となり令和7年5月に立ち上がったパラスポーツサークルの活動を紹介します。現在21名が在籍し、車いすバスケットボールやテニス、ピックルボールなど多様な種目にチャレンジしたり、参加者の特性に応じて誰もが楽しめるルールを考えながら、パラスポーツの魅力を探究しています。活動の一環として、地域の子どもたちを対象とした車いすスポーツクラブのサポートや、パラスポーツ体験教室の運営補助にも取り組んでいます。昨年末には車いすバスケットボール大会を開催し、参加者全員が一体となって汗を流しました。

障がいの有無や年齢に関わらず、誰もが本気で楽しみ、支え合えるパラスポーツの実践を通して、初級パラスポーツ指導者養成コースでは、指導の基礎を確実に身につけ、Well-beingな地域社会の実現に貢献できる理学療法士の育成を目指していきます。



▲大会後の集合写真



▲車いすバスケットボール大会の様子



▲地域の車いすスポーツクラブ支援の様子



▲車いすスポーツ体験教室の様子

学科
Topics

07

4年生の授業×ぐんま里山学校交流学習

子ども教育学科 准教授 村田 美和

子ども教育学科の授業「病弱児教育演習（4年生対象）」の学修成果の集大成として、学生がこれまでに学んだ専門知識と技術を活かし、活動をベースとした授業を自ら企画・構成し、実践することを目的とした交流授業が12月に行われました。この企画には、ぐんま里山学校の不登校を含む児童生徒15名が参加してくれました。

学生は、この日に向けて、2つの活動を準備しました。一つは、クラシエ株式会社の知育菓子を活用した探究学習の授業の企画です。一つの授業内に、複数の教科要素（国語・算数・理科・社会など）を組み込み、思考力や判断力を高める活動ベースの授業を考案しました。子どもたちは、お菓子を実験をし、食べながら考え、大学生と議論を交わしました。普段、学校での授業を受けていない子どもは、「45分の授業に参加できたことが自信に繋がった」と話していました。二つ目は、大学内ウォークラリーです。大学の食堂でランチを体験した後、大学図書館、体育館、スポーツジム、陸上トラック、部室棟などをめぐりながら、クイズやミッションに挑戦しました。「陸上トラックを初めて走る」という子は、大学生と全力で競争をしていました。

不登校を含む子ども達にとって、大学生は「自分より少し先を生きている人」であり、自分の将来を現実的に想像するきっかけになったようです。大学生の自由な雰囲気、同じ学校でも小中学校とは全く違う空気が流れていること、そしていろいろな道があることなどを肌で感じ、最後には皆とてもいい表情で帰って行ったことが印象的でした。



▲学部長から修了証が渡されました



▲ウォークラリーにいざ出発！



▲大学生と勉強する子どもたち



▲大学生がまずは自己紹介！



▲クリスマスツリーの前で記念写真をパシャリ！



▲食べられるスライム実験！



▲学食で交流ランチ！
大学生の日常をよーく観察！



▲お菓子の化石を発掘しながら調べ学習

学科
Topics

08

「知ってほしい、私たちの学び。」
生物生産学科の広報活動レポート

生物生産学科 教授 外山 吉治

本学に県内初となる農学部が設置されてから、早いもので丸7年が経過しました。設置当初は手探りのスタートでしたが、認知度の低かった本学部も教職員の皆様のご努力のおかげで、現在では近隣のみならず遠方の高校からも認知されるようになってきました。

高校からの出前授業やガイダンスの依頼は年々増加しており、令和7年度では30校を超える依頼がありました。その範囲は群馬県内や近県にとどまらず、新潟県や宮城県など広域にわたっており、本学部への期待がうかがえます。

出前授業では、各教員の研究テーマをまとめた資料を作成し、生徒の興味に合わせた柔軟なプログラムを提供しています。また、最近のトレンドである「学問系統分野別ガイダンス」では、単なる大学のPRだけでなく、農学部学びの特徴・やりがい、そして将来どのような職業につながるかを理解してもらうため、動画を含めた資料の作成に力を入れています。

さらに積極的な試みとして、座学だけでなく「模擬実験授業」を実施しています。本学に来ていただく以外にも、実験試料や機材を高校へ直接持ち込む出張模擬実験授業の依頼も受けています。これまでに群馬県立太田高等学校、新潟県立六日町高等学校、佐久長聖高等学校などで実施しました。実験試料の準備や機材の運搬など決して容易ではありませんが、大変評判も良く、生き生きと実験に取り組む生徒達の姿は、私たちの大きな原動力となっています。下の写真は辻先



▲発酵食品である醤油についての模擬授業



▲醤油の官能検査その1



▲醤油の官能検査その2



▲醤油の官能検査の結果

生による「醤油の官能検査」の様子です。種類の異なる醤油の塩味や旨味などを調べる実験で、興味津々に取り組んでいます。今後も入試広報センターの方々と密に連携し、積極的な広報活動を展開していきたいと考えています。

高崎健康福祉大学・大学院

令和7年度

学位記授与式

高崎健康福祉大



Congratulations on getting into your new life !!



3月19日に学位記授与式を挙行政いたしました。



ご卒業おめでとうございます



● 卒業者・修了者数

令和7年9月30日修了

学部・研究科	学科・専攻	卒業・修了者数
薬学研究科	論文提出による博士(薬学)	1名

令和8年3月2日卒業・修了

学部・研究科	学科・専攻	卒業・修了者数
健康福祉学研究科	保健福祉学専攻 博士前期課程	1名
	食品栄養学専攻 博士後期課程	3名
薬学研究科	論文提出による博士(薬学)	3名
保健医療学研究科	看護学専攻 修士課程(看護学分野)	1名
	看護学専攻 修士課程(助産学分野)	5名
	理学療法学専攻 修士課程	3名
農学研究科	生物生産学専攻 博士前期課程	6名
	生物生産学専攻 博士後期課程	1名
健康福祉学部	医療情報学科	81名
	社会福祉学科	86名
	健康栄養学科	95名
薬学部	薬学科	72名
保健医療学部	看護学科	99名
	理学療法学科	48名
人間発達学部	子ども教育学科	94名
農学部	生物生産学科	79名
合 計		677名



子ども・家族支援センターの目的と活動の紹介



8号館1F 子ども・家族支援センター

地域における子ども・家族支援及び地域住民のための健康維持、促進を図ることを目的としています。

○本センターの4つの機能

①地域住民への直接的な健康支援

・地域における専門スタッフとの連携を強化し、子育て支援を広げるため、地域住民を対象とした相談窓口を設置しています。0歳児から未就園児を育てる母親の育児不安の解消に取り組むとともに、重度の障害児をもつ保護者への支援にも貢献しています。

②高度な専門職研修

・専門職（保育士、幼稚園教諭、保育教諭）や学校関係者（学校長、クラス担任、支援級教員、養護教諭）、社会福祉法人の施設職員を対象とした職場研修を実施しています。また、保育所や小学校・中学校を訪問し、障害児への理解や対応に関する支援を行うことで、専門職の知識と技術の向上に貢献しています。

③研究の推進と公開

・学内外の専門職との連携を促進し、地域の健康支援に向けた活動の実践と研究を行っています。

④地域支援に貢献できる専門職や研究者の養成

・大学院生や学生を対象にした教育の場と併せ、学科を超えた研究者や教育者の係わりにも貢献しています。

○2025(令和7)年度の活動について

5月21日・22日に「療育指導が必要な親子ふれあい教室」参加親子23組と、「親子ふれあい教室」参加親子13組、計36組が農学部グリーンハウスを訪れ、いちご狩りを楽しみました。特に「療育指導が必要な親子ふれあい教室」の参加者にとっては、いちごを摘む体験自体が初めてであり、車いすから手を伸ばしていちごを採ることができました。この活動には、農学部生物生産学科の山崎篤教授・石神靖弘准教授、保健医療学部理学療法学科の正木光裕教授、保健医療学部看護学科の堀越摂子准教授・飯嶋友美講師、人間発達学部子ども教育学科の千葉千恵美教授・堀田椋助教、大塚真理保育士にご協力いただきました。

「療育指導が必要な親子ふれあい教室」は、月に1回、火曜日の2限目（10時45分～12時15分）に実施しており、障害のある子どもとその保護者に参加していただきました。活動には、支援センターのスタッフに加え、人間発達学部子ども教育学科の小竹利夫教授と堀田椋助教が携わり、子どもたちと一緒に遊びながら支援を行いました。

また「親子ふれあい教室・自由遊び」は、毎週木曜日の2限目（10時45分～12時15分）に実施しました。この活動は、新たな出会いの場を提供し、母親を孤独にしないことを主な目的として支援を行いました。

7月には天候に恵まれ、8号館3階の天空ガーデンにビニールプールを設置し、プール遊びを楽しむことができました。水しぶきを上げながら、汚れを気にせず存分に遊ぶことができました。

また、外部講師を招き「フラダンス教室」「リトミック教室」「ベビーマッサージ講座」「ピラティス講座」などを開講しました。友人と一緒に参加できるこれらの講座は、保護者にとってリラックスできる時間となり、交流の場としても役立ちました。

支援センターの活動と教育については、人間発達学部子ども教育学科 保育・教育コース3年生の「保育方法論」履修学生が支援センターの活動に参加し、子育て支援を体験しました。地域貢献と併せて、教育・研究に向けた支援活動を行いました。



令和7(2025)年度 高崎健康福祉大学公開講座を開催しました

人間発達学部子ども教育学科 准教授 松田 幸子

令和8年2月8日(日)に、令和7(2025)年度高崎健康福祉大学公開講座を開催しました。今年度は、近年の在留外国人の増加にともなう多文化化をうけて、「学校の中の多文化共生」をテーマとし、学校教育が外国にルーツのある児童生徒とどのように関わり、多文化共生を目指していくべきかについて考えました。

第1部では、現在全国でもっとも外国籍の住民が多い町村である群馬県邑楽郡大泉町での取組を中心に、3名の講師の方からお話をうかがいました。講演1では、平野勇パウロ氏(株式会社アルテソリューション 代表取締役)から「多文化共生とアイデンティティ」の演題で、日系ブラジル人3世として10歳の時に来日し、大泉町の小中学校で直面した疎外感や、その後ブラジル人としてのルーツを意識するようになった経験をお話いただきました。講演2では、岡田健児氏(大泉町教育委員会 教育指導課長)が「外国籍児童生徒等教育充実に向けた取組について」という演目で、実際の大泉町の外国籍児童生徒に対する教育実践をお話くださいました。外国にルーツのある児童生徒が、大泉町の小中学校に転校する前の準備段階で通うプレ教室や、入学後の指導を担う外国人子女教育コーディネーター等、教育現場の多様化に対応する大泉町の実践について理解を深めることができました。さらに講演3では、岡本拓子氏(高崎健康福祉大学人間発達学部子ども教育学科 学科長)に「大泉町の学習支援と多文化共生の課題」という演目で、昨年度実施された大泉町「子どもの生活」実態調査の結果と、平成28(2016)年から続けている生活・学習支援での活動について話題を提供していただきました。

第2部のパネルディスカッションには、外国にルーツがあり、来年度から群馬県の教員となるメムド アイシャさん(人間発達学部子ども教育学科4年)に加わっていただき、3名の講師の方とともに、参加者との質疑応答を行いました。議論の中で、外国にルーツのある子どもにかかわる学校教育の課題に対するひとつの対応策として、互いの文化的背景・アイデンティティを尊重しつつ、対話を続けていくことがあげられました。

前日からの降雪というあいにくの悪天候ではありましたが、23名の方にご参加いただき、学校と多文化共生というテーマについて、活発な意見交換を行うことができました。今後ますます多様化が進む地域の学校教育にかかわる大学として、引き続き同様の課題に取り組んでいきたいと思います。



講演1 平野勇パウロ氏



講演2 岡田健児氏



講演3 岡本拓子学科長



パネルディスカッション

スケート部

○第98回日本学生氷上競技選手権大会(インカレ)

年明けに開催されたインカレでは、女子総合優勝(1年ぶり8回目)を果たしました。大会2連覇がかかった前回大会では、入賞する活躍はあったものの総合優勝ができず悔しい思いをしました。今年はその悔しさを胸に、春から「総合優勝」を目標にトレーニングに励んできました。本番では、女子1000mで4年生の阿良美希(医療情報学科)が1位、下村璃々(医療情報学科)が2位、水戸咲良(医療情報学科)が4位、女子500mでは小野寺日菜(子ども教育学科)が2位になるなど、4年生が表彰台に上がる活躍をみせ後輩たちを引っ張ってくれました。また、最終日の団体種目では、女子2000mリレー、チームパシュートともに1位になり圧倒的勝利を収めることができました。女子は出場した全員が入賞し、第89回(2017年)に高崎健康福祉大学が出した女子総合得点157点を超え、過去最高の164点で総合優勝をすることができました。男子も多くの選手が入賞しましたが、表彰台の1番上は誰もとることができず、専修大学に続いて2位という結果でした。来年は、1人でも多くの選手が表彰台の1番上にいけるようにチーム全体でトレーニングに励んでいきたいと思います。

第98回日本学生氷上競技選手権大会の競技結果

1日目

男子 500m	4位 阿部春琉斗	6位 藤中 秀斗	9位 横沢 太希
男子 1500m	4位 小坂 陽汰	11位 三井 翔太	14位 市場 翔太
男子 10000m	2位 市場 桜也	19位 小野寺 昂	20位 船場 充嵩
女子 500m	2位 小野寺日菜	2位 阿良 美希	8位 水戸 咲良
女子 1500m	2位 奥秋 智佳	3位 畠山 雪菜	4位 下村 璃々

2日目

男子 1000m	3位 市場 翔太	6位 藤中 秀斗	20位 船場 充嵩
男子 5000m	5位 市場 桜也	12位 佐藤 真翔	4位 水戸 咲良
女子 1000m	1位 阿良 美希	2位 下村 璃々	8位 奥秋 智佳
女子 3000m	5位 畠山 雪菜	6位 重堂 沙姫	

3日目

男子 2000mリレー	2位 (熊谷宗一郎・横沢太希・藤中秀斗・阿部春琉斗)
男子チームパシュート	4位 (市場桜也・佐藤真翔・小坂陽汰)
女子 2000mリレー	優勝 (小野寺日菜・今井柊嘉・阿良美希・水戸咲良)
女子チームパシュート	優勝 (畠山雪菜・奥秋智佳・重堂沙姫)

学校対抗

女子	男子
1位 高崎健康福祉大学 164点	1位 専修大学 213点
2位 日本体育大学 96点	2位 高崎健康福祉大学 135点
3位 大東文化大学 63点	3位 日本体育大学 111点



女子総合優勝



男子2000mリレー

○第25回オリンピック冬季競技大会 ミラノ・コルティナダンペッツォ

オリンピックシーズンが始まり、12月末に開催された第93回全日本スピードスケート選手権大会(オリンピック選考会)では、新濱立也(本学職員)が男子500mに出場し、34秒40で2位となりオリンピック代表選手に選ばれました。また、卒業生の佐藤綾乃選手(子ども教育学科卒 現:ANA)と山田和哉選手(医療情報学科卒 現:ウェルネット)も代表選手に選ばれ、新濱立也は2大会連続、佐藤綾乃選手は3大会連続、山田和哉選手は初のオリンピック出場となりました。今シーズンからナショナルチームで活動している廣瀬勇太(医療情報3年)は、惜しくも代表選手には選ばれませんでした。ワールドカップ全戦に出場し第4戦のノルウェー ハーマル大会では、男子500mで3位になるなど世界の舞台で安定した滑りを見せてくれました。4年後の冬季オリンピック出場を目指して、まだまだ頑張ってくださいと思います。

オリンピックでは、男子500mで新濱立也が日本勢トップタイムの34秒466で全体6位入賞となりました。前回大会ではメダルが期待されている中で、力を発揮できずに終わってしまい、この4年間は悔しさを胸にオリンピックでメダルを獲得することを目標に掲げトレーニングに励んできました。腰椎骨折や交通事故など怪我も多く選手生命も危ぶまれたこともありましたが、こうして日本のエースとして戻ってきたことに新濱立也の強さを感じました。

佐藤綾乃選手は、女子団体パシュートで3位になり、同種目では3大会連続のメダル獲得となりました。また、山田和哉選手は、男子団体パシュートで8位になりました。大学ではパブリックビューイングが開催され、深夜帯にも関わらず多くの大学職員とスケート部員で日本から応援しました。卒業生によるメダル獲得の瞬間を見ることができ、多くの選手が刺激をもらうことができました。応援される選手を目指して、結果で恩返しができるように頑張ります。



新濱立也 オリンピックでの様子

男子剣道部 女子剣道部

男子剣道部・女子剣道部は、「全日本学生剣道優勝大会」「全日本女子学生剣道優勝大会」(全日)への出場を目標に、日々稽古に励んでいます。これまで、全日まであと一步というところで勝ちきれない試合が続き、悔しい思いをしてきました。その悔しさを糧に、限られた練習時間の中でも互いに切磋琢磨しながら稽古に取り組んでいます。また、日々の稽古だけでなく夏合宿や練習試合を通して実戦経験を積み、課題の発見と克服に努めることで、個人の成長とチーム力の向上を目指しています。

今年度は、全日初出場を目指し、稽古の中で課題を共有しながら、日々の稽古に真摯に向き合っています。また、稽古中の声かけやコミュニケーションを大切に、チームとしての一体感を高めることで、目標達成に向けて部員一丸となって取り組んでいます。

全日出場という目標の実現に向け、部員一同、日々努力を重ねてまいります。今後とも温かいご声援をよろしくお願いいたします。

女子剣道部主将 狩野紗也花 4年 子ども教育学科(明和県立高校出身)

男子剣道部主将 竹内 祐翔 4年 社会福祉学科(東京学館新潟高校出身)

○主な活動スケジュール

- 4月 全日本都道府県対抗剣道優勝大会
- 5月 関東学生剣道選手権大会 関東女子学生剣道選手権大会
- 6月 全日本学生剣道選手権大会 全日本女子学生剣道選手権大会
- 8月 夏合宿
- 9月 関東学生剣道優勝大会 関東女子学生剣道優勝大会
- 10月 全日本学生剣道優勝大会 東都学生剣道優勝大会
国民スポーツ大会
- 11月 全日本女子学生剣道優勝大会
関東学生剣道新人戦大会 関東女子学生剣道新人戦大会
全日本剣道選手権大会 全日本女子剣道選手権大会
- 12月 全日本学生剣道オープン大会
- 3月 群馬三大学対抗戦



準硬式野球部

「準硬」という言葉をご存知ない方も多いと思います。これは「準硬式野球」を略した呼び方であり、準硬式とは「軟式」でも「硬式」でもない、あまり馴染みのない言葉だと思います。しかし、全日本準硬式野球連盟には現在で約270校、約1万人もの選手が加盟しています。

なぜ軟式でも硬式でもない『準硬式野球』を選ぶのか?それは選手自身が自主性を養い、学業と両立できるからです。準硬では、学生が大会運営や采配までも主体的に実施するなど、選手たち自身で考えて動くことを重要視しています。その中で養われた自主性は、プライベートだけではなく学業の面でも自ら考え、行動することに繋がっています。

本学準硬式野球部は自主性と学業この2つを基盤として活動を行い、全国大会への出場も果たすことができています。しかしながら、上位大会では納得のいく成果を収めることはできていません。そこで、本年も選手・監督・マネージャー全員で一丸となり、練習に励み好成績を収めていきたいと考えておりますので、ご声援の程、どうぞよろしくお願い致します。

過去の活動実績

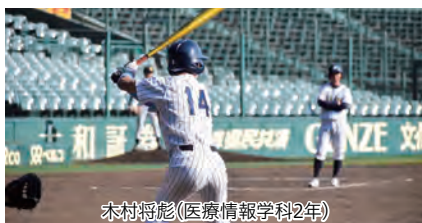
令和7年度	秋季リーグ戦	地区2位 リーグ3位
	春季リーグ戦	地区1位 リーグ3位
	全日本9ブロック対抗 準硬式野球大会 関東選抜が優勝(日本一)(木村将彪:医療情報学科2年) 関東選抜オーストラリア遠征(本学2名選出) (星野来空:生物生産学科4年)(永井華道:医療情報学科2年) (プロチーム:アデレード・ジャイアンツと対戦)	
令和6年度	秋季リーグ戦	地区1位 リーグ優勝
	清瀬杯全日本大学選抜準硬式野球大会出場	
令和5年度	春季リーグ戦	地区1位 リーグ準優勝
	秋季リーグ戦	地区2位 リーグ優勝
	春季リーグ戦	地区1位 リーグ準優勝

主な活動内容(年間)

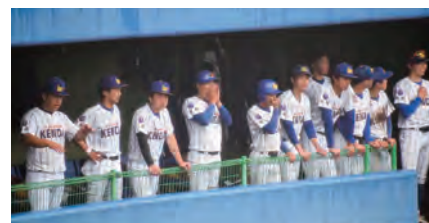
2月	春季合宿
3月	関東選手権大会
4~6月	春季リーグ戦
7月	JUNKOオールスター(大会)
8月	夏季合宿
9~11月	秋季リーグ戦



星野来空(生物生産学科4年)



木村将彪(医療情報学科2年)



Topics

04

バドミントン部

バドミントン部は、全日本学生選手権大会（インカレ）への出場および関東学生リーグ戦における1部リーグ昇格を目標に、日本全国から部員が集い、日々練習とトレーニングに励んでいます。

昨年度は部として掲げていた目標である、男女ともに2部リーグへの昇格を達成することができました。この成果をチーム全体の自信とし、本年度もさらなる競技力向上と目標達成に向け、計画的かつ継続的な取り組みを行っていきます。

また、地域貢献活動の一環として、近隣県の小学生から高校生までの代表選手と合同練習を行い、技術指導やアドバイスをを行う機会をいただきました。世代を超えた交流を通じて、競技の楽しさやスポーツの価値を共有するとともに、部員自身にとっても指導力や人間性を高める貴重な経験となりました。

今後も競技活動だけでなく、地域とのつながりを大切にしながら、学業と競技の両立を図り、大学および地域に貢献できる部活動を目指していきます。



活動実績

関東大学春季リーグ戦	2部リーグ5位・新人賞受賞（女子）3部リーグ優勝・2部リーグ昇格（男子）
関東学生選手権大会 Bブロック	ダブルス優勝・シングルス3位入賞（女子）ダブルス準優勝・3位入賞・シングルス3位入賞（男子）
国民体育大会群馬県予選会	シングルス3位入賞・ダブルス3位入賞（女子） シングルス優勝・準優勝・3位入賞、ダブルス準優勝・3位入賞（男子）ダブルス準優勝（女子）
関東大学秋季リーグ戦	2部リーグ6位（女子）2部リーグ3位入賞・敢闘賞受賞（男子）
全日本学生選手権大会（インカレ）	シングルス出場（女子）ダブルス出場（女子）

Topics

05

2026年4月心理学科開設

この4月、人間発達学部心理学科は心理学の基礎から応用・実践までを体系的に学べる学科としてスタートしました。公認心理師養成を柱の一つに据え、心の仕組みを科学的に理解することを基盤に、幅広い分野で求められる専門性と実践力を併せ持つ人材の育成を目指しています。

新校舎には、体験的に心の理解を深めるための心理学実験室が整備されます。また、地域の方を対象とした附属相談室の開設も予定されています。

心理学科における学びと研究を、本学で養成している他の専門職と連携しながら地域貢献へとつなげていきます。



新校舎(6号館)外観

1階エントランスイメージ



4階ホールイメージ





藤波

— 高崎健康福祉大学図書館報 —

ISSN 0919-4029

編集・発行 高崎健康福祉大学図書館 (<https://library.takasaki-u.ac.jp/>)

〒370-0033

高崎市中大類町37-1

TEL.(027)352-1290(代)

FAX.(027)353-2055

巻頭 随筆

「言葉・生きる歯車をまわすもの」

健康栄養学科長

しもかわ のりあき
下川 哲昭

今から50年程前、私は埼玉県南東部から東京・武蔵野にある中学校へ片道1時間半を電車で通学していました。スマホなどない時代でしたので通学中の電車内ではひたすら本を読んでいました。トルストイ『戦争と平和』、ユゴー『レ・ミゼラブル』、羅貫中『三国志演義』など学校で推奨されていた“世界の名著”といわれるものを読み漁ったものです。学生時代に形成された本を読む習慣（癖）、つまり本や文字（記号・数字）から情報やヒトの心のありようなどを得る習慣は、それからの自分の生きる基盤の一つになっています。また、著者が語る言葉は、幾多の困難に出くわした時に自身の生きる歯車をまわしてくれました。

【自分の決めた道から逃げない】

大学生の頃はジャーナリストの本多勝一氏に傾倒し、彼の書いた本はほとんど読みました。『しゃがむ姿勢はカッコ悪いか』、『貧困なる精神』、『殺される側の論理』など、お陰で社会的信条も中道よりやや左だと思えます。残念ながら氏は晩年、それまでの主張を一部覆し変節してしまっただけでなく、声高に主義主張するヒトの変節ほどカッコ悪いことはないと思えました。

ある桂冠詩人の言葉に「一本の道がある。この道こそ僕が愛し決めた道だ。（中略）僕はこの道から絶対に逃げない」と綴っています。他人や世間からの毀誉褒貶に惑うことなく自身の決めた道を歩むことの価値を教えてください。

【努力は夢中に勝てない】

「研究」という作業は、ヒト一人が一生をかけて行うのに値する仕事だと思っています。しかし、若い頃から研究に対する才能やセンスのない私は他人と比べては溜息をついていました。大学院生の頃は“ディスポ（使い捨て）の院生”と揶揄されたこともあった。何人かの友人が大学を辞めていく中、私は辞める勇気もなく悶々と研究を続けていました。そんな時、読んだ本からの多くの言葉が、私の顔を上げ前を向かせてくれました。編集者の箕輪厚介氏は「義務感で仕事をしている人間は、ヨダレを流しながら寝ることも忘れて没入している人間には絶対勝つことはできない」と『死

ぬこと以外かすり傷』で語っています。“辛いけど良い研究をしよう”と努力してきた私にとってこの言葉には驚愕しました。“努力して研究する必要はない。研究に夢中になりさえすればよいのだ”と目の前の霧が晴れていく様でした。



【苦悩を突き抜け歓喜に至れ】

人生は間断なき選択と挑戦の連続です。様々な選択があり、進むべき道を決めては挑戦していく。でも、時には自分の力ではどうしようもない状況に置かれることもあります。長男と次男が先天性疾患を抱えて生まれて来た時は、元来、楽観主義の私でも“人生はなんとタフなのか”と天を仰ぎました。悲嘆に暮れながら思い起こしたのは、20世紀を代表するフランスの作家、ロマン・ロランが『ベートーベンの生涯』の中でベートーベンが高らかに謳った一節。「苦悩を突き抜け歓喜に至れ」でした。作曲家・ピアニストであった彼にとって28才で重度の難聴のため音が聴こえないということは、どれほどの苦難だったろうか？それを乗り越えて彼が至ったのが「交響曲第九番」。「第九」の初演は1824年。200年の時間を超えて、絶望的な状況でも自らの宿命に立ち向かえば必ず希望の朝に至ることをベートーベンが身をもって示してくれているように感じます。

【LABOREMUS・ラボレムス】

このように臆病者で能天気であった自分が思いもよらない境涯になれたのは、先賢の凄まじいまでの経験とそこから絞り出された言葉を書物から知ることができたからに他なりません。

最後に「ラボレムス」。ラテン語で「さあ、仕事を続けよう」という意味で、英国の著名な文明史家トインビー博士の座右の銘です。彼は高齢になっても朝9時には机に向かって仕事を始めたという。シンプルだけど博士の歴史研究に対する真摯な姿勢が伝わってくる深い言葉です。私もそうでありたいと願い、拙文をお読みいただいた方々に感謝しつつ筆をおきます。

私の薦める1冊の本

執筆してくださった先生方には、【学生時代に熱中していたこと】
または【現在の趣味・特技】を聞いてみました。必見！



『科学的に証明された すごい習慣大百科』

堀田秀吾 著 SBクリエイティブ 2025

何かを始めようと意気込んでも、三日坊主で終わってしまったという経験は誰しもあると思います。そんな経験から、「自分は何かを続けることは苦手だ」と思い込んでいる人にこそ、この本をおすすめしたいです。

本書では、習慣化に必要なのは「意志の強さ」や「特別な才能」ではなく、「原理やコツをつかむこと」だと語られています。また、仕事、勉強、コミュニケーション、健康など、さまざまな分野の100以上の習慣化テクニックが紹介されています。例えば、「おでこを30秒間トントンする」だけで暴飲暴食を抑えられるなど、すぐに始められる習慣もあります。紹介されている習慣がすべて、実際の研究結果に基づいているのも面白い点です。

本書は、「続けることが苦手な人」のための実用書とさ

れています。読みものとしても十分に楽しめる1冊だと思います。また、勉強が続けられないと悩んでいる学生にも是非1度読んでいただきたいです。

健康福祉学部 医療情報学科
くろいわ ゆうき
黒岩 祐樹



学生時代は料理が好きで、バイト先の飲食店でもレシピを教わっていました。最近では、YouTubeの料理動画を参考にしています。



『52ヘルツのクジラたち』

町田そのこ 著 中央公論新社 2020

もしれません。

“52ヘルツ”という特殊な周波数を発するため、仲間とコミュニケーションがとれない“孤独なクジラ”と呼ばれる存在になぞらえて、この物語は描かれています。家族から虐待を受け、自分の人生を犠牲にしてきた女性と、実母から虐待され、声を失った少年—孤独な境遇にある二人が出会い、支え合いながら再生していく姿が紡がれています。

物語には主人公たちだけでなく、彼らを取り巻く人々も登場し、それぞれが抱える痛みや葛藤、他者とのつながりが丁寧に描写されています。そこで起こる出来事は、決し

て私たちの現実から遠いものではありません。

フィクションでありながら、多様な人生をどう理解し、自分自身や他者の人生とどう向き合うか、そんなことを考えるきっかけを与えてくれる作品だと思います。

健康福祉学部 社会福祉学科
とぐち みちる
渡久地 美智留



学術書だけでなく、小説を読むことも好きです。身体を動かすことが好きなので、趣味のロードバイクを再開予定です。



『ライバルはいるか?』

金間大介 著 ダイヤモンド社 2024

「誰かと競いたくない」——そう思う人が増えている時代に、あえて「ライバルはいるか?」と問いかけるこの本に思わずどきっとさせられました。本書が扱うのは、競争を避けがちな今の社会において、ライバルとはなにか、そしてその存在が人の成長にどのようにかわるのかというテーマです。

かつてスポーツに打ち込んでいた私自身、他者との競争を経て、最終的には自分こそ最大のライバルだと考えるようになりました。自分との戦いには負けることも多いのですが、それでも前に進んでいる感覚があります。こうした周囲には話にくい感情について、筆者は様々なデータや具体的なエピソードを交えながら軽快に解き明かしてくれます。

ライバルという概念を通して、自分の内面を見つめ直し、同時に他者への理解も深められる一冊。人間の心の動きについて、改めて考えさせられる内容です。

健康福祉学部 健康栄養学科
いのうえ ひとみ
井上 瞳



毎朝5時半からの朝活（軽い運動と英語学習）を継続中。オンラインコミュニティと大人のやる気ペンの利用が継続のコツです。



『マエストロ、それはムリですよ…』～飯森範親と山形交響楽団の挑戦～

飯森範親 監修／松井信幸 著

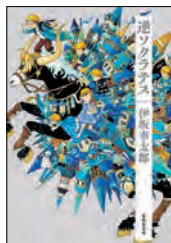
ヤマハミュージックエンタテインメントホールディングス 2009

現在、群馬交響楽団の常任指揮者である飯森範親先生。本書は2004年から常任指揮者・ミュージックアドバイザー（現桂冠指揮者）を務めた山形交響楽団との挑戦が描かれています。自然と食が豊かで、温泉王国でもある山形にて、山響はモーツァルトの交響曲全47曲や大曲であるマーラーやブルックナーなどの演奏、CDレーベルの設立、モンテディオ山形とのコラボ、「トリビアの泉」「題名のない音楽会」や映画「おくりびと」への出演、新潟県中越地震や本田美奈子追悼チャリティイベントの開催などへの挑戦を通じて、観客動員数180%増という目に見える成果だけでなく、自らの長所を認識・再発見し、自分たちにしかできない音楽・活動に気付いていきます。「単なる地方オケ」からの覚醒へのヒントは、「ムリ」という発

想から脱却し、どうすればできるようになるかを考え、一歩踏み出す勇気を持つこと。背中を押されたいすべての人にオススメです。

人間発達学部 子ども教育学科
すずき ふんや
鈴木 文也

中高時代はオーケストラでホルンを演奏し、学生時代から現在に至るまで合唱にハマっています。題名のない音楽会にも出演しました！



『逆ソクラテス』

伊坂幸太郎 著

集英社 2020

個人的な意見が周りとは異なると、空気を読んで自分の意見を抑えるという経験はありませんか。集団生活では、周りの人と意見を合わせ、協調することはとても重要であると思いますが、この本は、相手の意見を尊重しつつも自分自身で考えることの大切さを教えてくれる一冊です。小学6年生の主人公が、自分が落ちこぼれだと決めつける担任の先生に、転校生の友人とともに「一番の敵は先入観だ」、「ぼくはそうは思わない」と反抗する物語です。この本では、「常識」や「正しいと思いこんでいること」も子ども達の視点で考えると、時には間違っていることもあるのではないかと考えさせられます。

社会では、多様な文化や考え方・価値観が異なる人がいます。相手の考え方を尊重し、理解しつつも、他人に流さ

れずに自分の意見を持つこと、みんなが同じ意見ではなくていいという理解が重要であると教えてくれる物語です。是非、手に取って読んでいただけたらと思います。

保健医療学部 看護学科
あさい なおみ
浅井 直美

学生時代は、軟式テニス部に所属し、真っ黒に日焼けし、練習をしていた記憶があります。その時の友人は今でも変わらず大切な友人です。



『支えられて -ALS療養者になって-』

牛久保結紀 著

文芸社 2010

著者は看護師として地域医療に従事し、訪問看護ステーションの管理者として活躍していましたが、ある日、ALS（筋萎縮性側索硬化症）と告知されます。ALSは徐々に筋力が失われ、やがて食事・会話・呼吸が自力でできなくなる病気ですが、目の動きと知的機能は保たれるため、心身の大きな負担と向き合いながらの生活をするようになります。著者は“支える側”から“支えられる側”へと立場が変わる中でも、前向きな思いを本書につづりました。生い立ちから発症後の社会活動まで幅広く記した自叙伝であり、人の生き方や尊厳について深く考えさせられる一冊です。現在は絶版ですが、図書館や中古で入手できます。私は著者の主治医で、いただいた切り絵を研究室に大切に飾っています。精一杯の思いを込め

て作られた作品ですので、機会があればぜひ見に来て下さい。

保健医療学部 理学療法学科
たなか さとし
田中 聡一

小学校から大学まで、部活・地域クラブで、剣道・野球・体操・サッカー・水泳の本気スポーツ三昧の学生生活でした。今は毎日の朝散歩です。



私の薦める1冊の本

執筆して下さった先生方には、【学生時代に熱中していたこと】
または【現在の趣味・特技】を聞いてみました。必見！



『ココロ』(岩波文庫)

夏目漱石 著 岩波文庫 1989

「君、黒い長い髪で縛られた時の心持を知っていますか。」

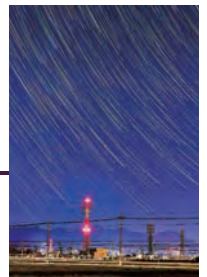
夏目漱石『ココロ』の中で、「先生」が「私」に向けた一言です。ここでいう「縛られる」とは、誰かへの強い思いや欲望にとらわれ、理性や道徳心よりも自分の感情や利己心を優先してしまう状態だと言えるでしょう。一見誠実に見える「先生」が、友情を裏切ってまで手に入れた恋と、その代償として生涯背負い続ける罪悪感。作中で、「黒い長い髪」は、他者への愛情でありながら、人を縛りつけてしまうエゴイズムの象徴として立ち上がってきます。

他人との関係に悩み、「自分だけが幸せになりたい」という思いと向き合うのは、現代を生きる私たちにとっても

他人事ではありません。『ココロ』は、そうした揺れ動く心を正面から見つめるきっかけをくれる一冊です。「先生」が生涯抱えた秘密の重さと、「縛られる心」を抱えて生きる人間の弱さと強さを、ぜひ味わってみてください。

薬学部 薬学科
すなかわ ひろき
砂川大樹

趣味は写真撮影です。街や山の風景を撮ることが多いですが、冬は星の写真をよく撮ります。右の写真は5号館付近で撮った写真です。



『暗号解説[上]』(新潮文庫)

サイモン・シン 著/青木薫 訳 新潮社 2007

有史以来、情報を伝達するうえで第三者に傍受されることを防ぐために様々な暗号が用いられてきた。紀元前ローマ、カエサルの時代の換字式暗号、16世紀のヴィジュネル暗号、第二次世界大戦中のドイツの暗号装置エニグマ、現代のRSA暗号に至るまで、暗号を創り出す者とそれを破ろうとする者の戦いの物語が本書にはつづられています。歴史の大きな事件の裏側には暗号にまつわる話があり、情報伝達の成否が違っていたらそれらの事件の結末もまた変わっていたかもしれない。暗号の解説においては、解説に成功したことを相手に知られると、さらに強力な暗号が使われることにつながるため、暗号解説に携わった者の功績は秘匿されることが多く、正当に評価されることは少なかった。過去の歴史的事件を少し違った面から見

直すこともでき、暗号マニアや歴史好きにもお勧めです。エニグマのエピソードについては、映画「イミテーションゲーム」をお勧めします。

農学部 生物生産学科
いしがみ やすひろ
石神靖弘

学生時代には講義の空き時間によく、カラオケに行っていました。最近はめっきりそのような機会も少なくなり残念です。



司書の薦める1冊の本

図書館で今年度購入した本の中から、司書がお薦める本を紹介します。



『本を読んだことがない32歳が初めて本を読む』

かまど・みくのしん 著 大和書房 2024

第1章では、32歳まで読書をしてこなかった男性が、一行一行声に出して『走れメロス』を読んでいます。

無二の友人を人質にするメロスに「なんかすごいこと言い出したんだけど」と驚いたり、自暴自棄になるメロスに「どうでもいいとか言うなよ。俺、こんなになってんだぞ」と泣いたりして、最後の一行までしっかりと読み、物語を味わい尽くしています。

普段読書をしない人にこそ読んでほしい一冊です。きっと本が読みたくなります。



『父と娘ときどき母の認知症日記』

南高まり先生 編著
中央法規出版株式会社 2025

『父と娘の認知症日記』の続編。認知症研究の第一人者であり、自身も認知症になった長谷川和夫先生。亡くなれる最期まで、自分で考えて、選んで、意志を持って「今」を生きた長谷川先生とそれを支えるご家族の心温まるユーモアに溢れた日記風エッセイです。

「認知症の人だから…」という先入観を持たずに、健康な人と同じように水平な関係性でいることの大切さ、そして絆を育むためのヒントが綴られています。



電子書籍統計



●丸善eBook Library閲覧数上位書籍（2025年1月～12月）

閲覧数	書 名	発行所
48	科研費獲得の方法とコツ ―実例とポイントでわかる申請書の書き方と応募戦略―第9版	羊土社
34	脳卒中・片麻痺理学療法マニュアル 第2版	文光堂
34	脳・神経系リハビリテーション ―疾患ごとに最適なりハの手技と根拠がわかる―第2版(ビジュアル実践リハ)	羊土社
30	脳卒中患者に対する課題指向型トレーニング	文光堂
15	福祉サービスの法律と手続き ―図解で早わかり―	三修社

●メディカルオンラインイーブックライブラリー閲覧数上位書籍（2025年1月～12月）

閲覧数	書 名	発行所
18	地域理学療法学 第2版	医歯薬出版
7	高齢者施設のリハビリテーション 第2版	三輪書店
5	糖尿病患者トラブルシューティングAtoZ	文光堂
3	小児科臨床ピクシス 9 川崎病のすべて（全訂新版）	中山書店
3	感染対策超入門 ―成功の秘訣	ヴァンメディカル



電子ジャーナル利用回数ベスト10

集計期間：
2025年1月～12月



順位	タイトル	回数	どんな電子ジャーナル？
1	Nature	343	科学分野の論文を掲載。
2	Science	299	科学系学術雑誌。
3	Geriatrics & Gerontology International	207	日本老年医学会の公式ジャーナル。（英文）
4	Proceedings of the National Academy of Sciences	140	米国科学アカデミー（NAS）の公式ジャーナル。
5	The Journal of Immunology	137	免疫学に関する論文を掲載。
6	Nature Metabolism ※PPV	124	代謝研究のあらゆる分野にわたる研究成果を掲載。
7	Journal of Allergy and Clinical Immunology	109	米国アレルギー・喘息・免疫学会（AAAI）公式ジャーナル。
8	Journal of Agricultural and Food Chemistry	95	農業と食品の化学・生化学関連における、独自の研究を発行。
8	The Journal of Organic Chemistry	95	有機化学分野の基礎研究に関する論文を掲載。
10	Journal of the American Chemical Society	94	American Chemical Societyが発行する化学分野において主要なジャーナル。

※PPV（購読誌ではなく、論文ごとの購入）



年間貸出ベスト10

集計期間：2025年1月～12月

※同一書名でかつ図書IDの異なるものは合算してあります。
※著者名が明記されていない図書は出版者名を記載してあります。



●本 館

回数	書 名	著者名
9	障害のある子どもとの教育的係わり合い	小竹利夫
8	成瀬は信じた道をいく	宮島未奈
8	これならわかる！心電図の読み方	大島一太

8	日本十進分類法 新訂10版簡易版	もりきよし
7	大学新入生のための数学入門 増補版	石村園子
7	アクセシブルデザイン	佐川賢
7	地域医療学入門	岡崎仁昭
7	出るところだけ！基本情報技術者科目B	橋本祐史
7	看護の現場ですぐに役立つ12誘導心電図のキホン	高橋健太郎
7	今さら聞けない心電図	池田隆徳

●分 館

回数	書 名	著者名
17	エビデンスに基づく消化器看護ケア関連図	松浦純平
9	身体運動学 関節の制御機構と筋機能	市橋則明
8	エビデンスに基づく疾患別看護ケア関連図 第3版	山本則子 五十嵐歩

8	脳・神経 病気がみえる v.7 第2版	医療情報科学研究所
7	脳卒中の動作分析 臨床推論から治療アプローチまで	金子唯史
7	脳卒中のリハビリテーション 急性期・回復期・生活期のリハビリ訓練	林泰史
7	根拠がわかる疾患別看護過程 改訂第3版	新見明子
7	エビデンスに基づく循環器看護ケア関連図	森山美知子
6	本当の自由を手に入れるお金の大学 改訂版	両@リベ大学長
6	ケアの基本がわかる重症心身障害児の看護	倉田慶子[ほか]

●薬学部図書・資料室

回数	書 名	著者名
24	薬剤師国家試験回数別既出問題集 第107回	薬学ゼミナール
20	薬剤師国家試験回数別既出問題集 第106回	薬学ゼミナール
20	薬剤師国家試験回数別既出問題集 第105回	薬学ゼミナール

16	薬剤師国家試験回数別既出問題集 第103回	薬学ゼミナール
15	今日の治療薬 解説と便覧 2025年版	伊豆津宏二[ほか]
13	薬剤師国家試験対策参考書〈青本〉9 実務 改訂第15版	薬学ゼミナール
12	薬剤師国家試験回数別既出問題集 第109回	薬学ゼミナール
12	薬剤師国家試験対策参考書〈青本〉5 薬理・病態・薬物治療Ⅰ 改訂第15版	薬学ゼミナール
11	コアカリ重点ポイント集 vol.2 医療薬学 改訂第9版	薬学ゼミナール
11	薬剤師国家試験対策参考書〈青間〉5 薬理・病態・薬物治療Ⅰ 改訂第15版	薬学ゼミナール

図書館の窓



今年度の図書館活動報告です。図書館は、大学生活を送るうえで欠かせない学修のお手伝いをしています。みなさんもぜひ図書館をご活用ください。

特 集 展 示

1月	【本館】 はじめてみる 【分館】 冬を乗り切ろう 【薬図】 アレルギーを知る
2月	【本館】 【語彙力】 って？ 【分館】 もやもやにバイバイ 【薬図】 すきまのおともに。(文庫本特集)
3月	【本館】 ひとやすみ、ひとやすみ。/Well-being ウェルビーイング ―健康について考える 【分館】 コミュニケーションスキル
4月	【本館】 はじめまして、あたらしい生活/2025年本屋大賞/第172回芥川賞&直木賞 【分館】 「知識を広げよう」 【薬図】 こんにちは。薬学部図書・資料室です！
5月	【本館】 Well-being ウェルビーイング ―健康について考える(1)「身体の健康」 【分館】 看護の日・看護週間『なりたい自分になってやる』/運動、しませんか 【薬図】 “世界” な本あつめました
6月	【本館】 Well-being ウェルビーイング ―健康について考える(2)「心の健康」/就活対策(学生サポーター企画)/2025 若い人に贈る読書のすすめ(1)「本を読むこと、自分の意見を伝えること」 【分館】 食中毒、どう予防する？/刺さることば 【薬図】 くすりのれきし

7月	【本館】 Well-being ウェルビーイング ―健康について考える(3)「地域で支える健康」／break time 一少し休憩しよう(学生サポーター企画)／2025 若い人に贈る読書のすすめ(2)「考える力、行動力を同世代の物語から感じ取る」／Newton別冊特集
	【分館】 夏も「冷え」にご用心!／のぞいてみよう、漢方の世界
	【薬図】 熱中症にご注意!!
8月	【本館】 Let's travel (学生サポーター企画)／2025 若い人に贈る読書のすすめ(3)「経験をもとに次の一步を踏み出す」
	【分館】 朝活、はじめてみませんか?／夏がきた。
	【薬図】 青色の本
9月	【本館】 2025 若い人に贈る読書のすすめ(4)『『ことば』を交わし世界を広げる』／司書課程履修生がPOPを作製しました。
	【分館】 中2のおすすめ本／ほっと、一息
10月	【本館】 Well-being ウェルビーイング -お金について考える(1)「仕事とつながりについて」／ノーベル生理学・医学賞：免疫関連本
	【分館】 知ろう、乳がんのこと／文庫でちょこ勉
	【薬図】 薬と健康の週間／ノーベル賞2025
11月	【本館】 日本の文化(学生サポーター企画)／食育特集／Well-being 【5】 ―お金について考える(2)／第1回 10代がえらぶ海外文学大賞
	【分館】 あなたは大丈夫?防犯対策／中2のオススメの本／生成AI どうやって使う?
	【薬図】 『薬剤耐性(AMR)対策推進月間』特集
12月	【本館】 大人も楽しめるクリスマス絵本／Well-being 【6】 ―お金について考える(3)／論理的○○?
	【分館】 免疫力を高める セルフケア／腸ってナニモノ?

図 書 館 活 動		
1月	8日	データベースガイダンス 看護学科3年 100名
	15日	データベースガイダンス 生物生産学科3年 14名
3月	13日	令和6年度群馬県図書館協会第1回運営委員会@群馬県立図書館
	24日	令和6年度群馬県大学図書館協議会総会および第1回群馬県大学図書館研究会・群馬県図書館協会専門研修@群馬大学
4月	4～12日	データベースガイダンス 大学院看護・理学療法学専攻1年(オンデマンド配信) 10名
	7・8日	eBookの紹介 看護学科2～4年生
	8日	図書館の利用について 看護学科1年生
	11日	新入生交流イベント 全学科1年生
	9日	データベースガイダンス 大学院看護・理学療法学専攻1年(オンデマンド配信) 10名
	16日	SciFinder®利用ガイダンス 薬学科5年 3名
5月	1日	データベースガイダンス① 理学療法学学科3年
	9日	SciFinder®利用ガイダンス 薬学科5年 5名
	14日	令和7年度群馬県図書館協会第1回運営委員会(書面)
	15日	データベースガイダンス② 理学療法学学科3年
	27日	図書館ガイダンス 健康栄養学科3年 79名
6月	6日	日本薬学図書館協議会定期総会・記念式典@東京ドームホテル
	19日	令和7年度群馬県図書館協会第2回運営委員会@群馬県立図書館
7月	2日	群馬県大学図書館協議会運営委員会(オンライン)
8月	1日	データベースガイダンス 健康栄養学科 25名
9月	9～12日	『高崎市やるベンチャーウィーク』受け入れ 倉賀野中学校2年
	10・11日	JUSTICE2025年度版元提案説明会@一橋講堂
	12日	群馬県大学図書館研究会(JPCOAR地域ワークショップ)@群馬大学
10月	1日	データベースガイダンス 健康栄養学科 28名
	1・8日	体育理論・図書館本館コラボ
	8日	データベースガイダンス 生物生産学科3・4年 生物生産学専攻 15名
	27日	データベースガイダンス 健康栄養学科 21名
	30日	第21回群馬県図書館大会@群馬県立図書館
11月	17～20日	『高崎市やるベンチャーウィーク』受け入れ 中尾中学校2年

学生サポーター 活動中!

図書館では、毎年学生の中から
「図書館サポーター」を募り、
活動しています。



📖 主な活動内容



配架作業

資料を本棚（書架）の所定の位置
に戻す。



書架整理

資料が請求記号順*に並んでいる
か確認しつつ、位置を調整する。
*…資料の背表紙に貼られたラベルの番号



装 備

購入した資料に蔵書印を押す、
バーコードを貼付する等、貸出の
準備をします。

📖 活動報告

健康福祉学部 医療情報学科 1年 菅澤伶南サンゲル

私がサポーター業務を始めたきっかけは、学内で募集のポスターを見かけたことです。もともと本が好きで小学生の頃には図書委員会に入ったりと本と関わりがありましたが、中学校と高校では部活動に力を入れていたためあまり図書館に行けませんでした。そこで大学では沢山図書館に出向いて、沢山の本を読みたいと思っていました。その時にサポーターを募集していることを知り、是非図書館の業務に携わってみたいと思い参加しました。

主な活動は配架や書架整理、新しい本のカバーかけなどです。私は特に配架が好きで、返却された本や新しく購入した本を一冊ずつ戻す作業をしている時が一番心が休まります。また、配架や書架整理を続けていくうちにどの分野の本がどこにあるのか分かるようになり、効率的に作業を進めることができるようになりました。本の匂いに癒されたり、新しい本との出会いもあるため、毎回サポーター業務を楽しみにしています。

今までの活動で一番印象に残っているものは、学生サポーター企画として特集を組ませて頂いたことです。【Let's travel 海外旅行に行ってみませんか?】を題材に、大学生や先生方などに是非読んでほしい本を自ら選



び、キャッチコピーやポスターを作成しました。自分が作ったポスターがエントランスに大きく飾られ、図書館内では本も飾って頂きました。また、司書の方に私がおすすめした本を借りた人がいたよ、と伝えて頂いた時にはとても達成感を感じ、本当に嬉しかったです。海外にもとても興味があるので、本と海外を結び付けて特集を組めたことは大切な思い出になりました。

現在は週一回、業務に取り組んでいます。毎回とても楽しみにしています。活動を通して本と関わることができてとても嬉しいです。学年が上がっても続けていきたいと考えています。これからもサポーター業務を頑張ります。



◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇ 学生サポーターおすすめ本 ◇◇◇◇◇◇◇◇◇◇



『獄窓記』

山本譲司 著 ポプラ社 2023

健康福祉学部 社会福祉学科
1年 森田和稟

この本は、実際の刑務所の中での出来事が記された本です。犯罪を犯してしまった、著者で元衆議院議員の山本譲司さんが、実刑判決をうけ、実際に体験した「檻の中」での生活が記されています。法廷に至るまで、刑期を終えるまでの長い生活がつづられています。この本が書かれたのは一昔前のお話ですが、なかなか経験することのできない獄中での生活が鮮烈に描かれており、衝撃を受けました。この本を読む前までは知らなかった、刑務所や司法制度が抱えている問題を実際に読み取ることができます。また、障害者の人達への補助体制や患う人への看護体制が正しいとも言えない現状を読み取ることができます。それだけでなく受刑者、出所者が抱える特有の悩みなどについても認識することができ、自分の価値観を広げることができました。



『「コード」のぼくが見る世界聴こえない親のもとに生まれて』

五十嵐大 著 紀伊國屋書店 2024

健康福祉学部 社会福祉学科
1年 大野美空

あなたは「コード」を知っていますか？
コード(CODA)とは、children of Deaf Adultsの頭文字を取った言葉。つまり、「聴覚障害を持った親のもとで育った聴こえる子供たち」を意味する。この本は、コードである著者が聴こえる世界と聴こえない世界を行き来する複雑な経験と心境をつづったエッセイ集。

この本を読むことで、障がいを持つ人々にフォーカスするだけでなく、障がいを持つ人々の家族や周りにも目を向け、支援していく必要があると学ぶことができる。ぜひ、この本をきっかけにコードについて触れ、福祉に関する視点を増やしてみたいだろうか。

また、この本の著者が書いた「ぼくが生きてる、ふたつの世界」という別のエッセイを映画化した作品のDVDが本学の図書館で借りられる。読書が苦手な方は、ぜひこちらの映像作品でコードについて触れてみてほしい。

高崎市やるベンチャーウィーク(職場体験学習)実施報告



＜「高崎市やるベンチャーウィーク」とは…＞

高崎市と高崎市内の中学校が「生きる力」や「豊かな心」の育成を目指し、生徒が学校を離れ地域の中で自ら主体的に活動する事業です。本学図書館に依頼があり、地域貢献の一環として、分館で引き受けることとなりました。

今年度も倉賀野中学校と中尾中学校の2校を受け入れました。

①高崎市立倉賀野中学校

日 程：令和7年9月9日(火)～12日(金)

人 数：2年生の生徒さん2名

勤務時間：8：45～15：30(火・水)、8：45～16：30(木・金)

業務内容：開館前準備、カウンター業務、問題集の装備、書架・新聞整理、相互協力業務、特集コーナーの企画・設置・掲示物作成、ブックカバーかけ体験 等



倉賀野中学校のお二人は、本学の夏季休業中に受け入れだったため、なかなかカウンター業務を体験いただくことが難しかったのですが、タイミングよく相互協力サービスの依頼業務等が入ったため、大学図書館らしい業務を体験いただくことができたのではないかと思います。

中尾中学校のお二人も、学生の実習時期と重なってしまったのか、カウンター業務を体験いただくことが難しかったため、それ以外の様々な図書館業務を体験いただきました。カウンター業務以外にどんなことをしているか、興味があるとのことでしたが、予想よりも多くて驚かれたようです。

活動風景の撮影等でご協力いただきました学生、教職員の皆様、本当にありがとうございました。

②高崎市立中尾中学校

日 程：令和7年11月17日(月)～20日(木)

人 数：2年生の生徒さん2名

勤務時間：8:45～15:30

業務内容：開館前準備、カウンター業務、問題集や製本の装備・排架、書架・新聞整理、特集コーナーの企画と設置、掲示物作成・ブックカバー掛け体験 等



チャッピー(ChatGPT)たちは嘘をつく?!

ここ数年で認知度がぐんぐん上がってきた、ChatGPTに代表される生成AI。知らないことを教えてくれたり、アイデアを出してくれたり、本物の写真のような画像だって一瞬で作ってくれます。とても便利なツールですが、時には誤った情報を生成してしまうことがあります。それは、論文やレポート作成時に文献情報を探す時も例外ではありません。

＊ ＊ 文献情報検索に生成AIを使う時に知っておきたい注意点 ＊ ＊

✓ 生成AIの答えは必ずしも正しいとは限らない

生成AIはたくさんの文章をもとに答えを作りますが、間違った情報を出すことがあります。「この論文があります」と紹介されても、実際には存在しないこともあります。実在する著者の、ありそうな学会誌の、もっともそうな論文だけれど…「架空」ということがあります。生成AIが出した文献情報を鵜呑みにせず、必ず信頼できるデータベース（CiNiiResearch・医中誌web・PubMed など）で再検索しましょう。

✓ 要約は参考程度に

生成AIの要約は便利ですが、細かい意味が違ふことがあります。引用などに使うときは必ず原文を読んで引用しましょう。生成AIの要約だけで引用するのは、誤解や間違いの原因になります。

＊ ＊ まとめ ＊ ＊

生成AIは「調べるきっかけ」として使うのが安心です。最後の確認は、必ず信頼できる情報源で！ 本学図書館ホームページから、文献検索に便利なデータベースへ飛べます。ぜひご活用ください！ データベースの使い方がよくわからない...など、困ったときは図書館に相談してください。

【本館】 アクリル板を「すりガラス風」にDIYしました

本館の4人掛けの机に設置されていたアクリル板。クリアで視界良好ではあったのですが「相席が気まずい」との声なき声に耳を傾け、曇りガラスフィルムを貼りました。

まず、アクリル板に少量の洗剤を混ぜた水を霧吹きで多めに吹き付け、次に雑巾で空気を抜きながらフィルムを密着させます。空気を抜きながら貼るときには、本の表紙をコーティングする技術をフル活用。最後に余分な水分をふき取り、乾けば完成です。

手元は取えて貼らずに視界を確保。対面に回り込まずとも、利用中か否か分かるように工夫しました。「集中できる」と好評です。

試験前からは特に込み合うので、ぜひ相席をして図書館をご活用ください。



手元の視界は確保



～通学について(大学院)～

1.電車・路線バスの利用(通学証明書の発行申請)について

通学証明書の発行申請は、各学部事務室で随時受け付けをしています。申請の2日後に発行となります(土日祝日を除く)。発行手数料はかかりません。

乗り継ぎで電車と路線バス両方の通学定期券を購入する場合、通学証明書は2通必要になります。また、複数の鉄道会社を乗り継ぐ通学定期券を購入する場合は、通学証明書が2通以上必要になることがあります。不明な点は最寄り駅にお問い合わせください。

2.大学バスの利用について

大学バスは、高崎駅東口、大学キャンパス、紫寮間を運行しています。講義時間に合わせた運行となっています。高崎駅周辺、紫寮周辺に住む学生も利用できます。

無料で利用できます。通学証明書の発行申請も必要ありません。

乗車の際は学生証の呈示が必要となります(学生証の交付を受ける前は呈示不要です)。

高崎駅東口のバス乗降場所については「高崎駅東口バス乗降場所」を、大学キャンパスのバス乗降場所については「キャンパスマップ」を、令和8年度前期の時刻表については「令和8年度前期大学バス時刻表」をご確認ください。

※バスのフロントガラスには経由の呈示をしています。確認してから乗車してください。

※行事や長期休業等で時刻表に変更がある場合は、その都度学内掲示板にてご連絡いたします。

3.学生駐車場の利用について

学生駐車場を利用するためには、入学後に各学部事務室で申込手続きをして自動車通学の許可を受ける必要があります。申込手続きについては、入学後の4月中旬に学内掲示板でお知らせする予定です(以降は半期毎に申込手続きをする必要があります)。利用料金は半期(6ヶ月)4,000円、年間8,000円です。

なお、収容台数より申込手続き者数が多かった場合は抽選になります。許可されなかった場合、車での通学はできませんのでご了承ください。

学生駐車場の場所については、「キャンパスマップ」をご確認ください。第1駐車場から第9駐車場までありますので、空いている箇所に駐車してください。

※来客駐車場、教職員専用駐車場への駐車や、路上駐車は厳禁です。

※講義・部活サークル活動等で他学部の校舎・施設に行く場合は、徒歩で移動してください。

4. バイク・自転車での通学について

各学部バイク・自転車の駐輪場の場所については「キャンパスマップ」をご確認ください。

健康福祉学研究科(バイク)	2号館と3号館の間のバイク専用駐車場
健康福祉学研究科(自転車)	テニスコート北側の二階建て駐輪場
薬学研究科(バイク)	7号館東側の駐輪場
薬学研究科(自転車)	7号館東側と西側の駐輪場
保健医療学研究科(バイク・自転車)	4号館西側の駐輪場
農学研究科(バイク・自転車)	10号館北側の駐輪場

※バイク・自転車とも、奥から整然と並べ、駐輪場からはみ出さないよう置いてください。

※講義・部活サークル活動等で他学部の校舎・施設に行く場合は、徒歩で移動してください。

※盗難には十分気をつけてください。

指定バス乗降場位置図

指定バス乗降場で大学バスをご利用いただけます。

 指定バス乗降場所

高崎駅 東口

ヤマダ電機
LABI 1 高崎 様

セブン
イレブン 様

交通島内のバスブースは検討中



- | | |
|------|--|
| 1号館 | 健康福祉学部
入試広報センター |
| 2号館 | 健康福祉学部
学生ホール
図書館 |
| 3号館 | 健康福祉学部 第1体育館 |
| 4号館 | 保健医療学部 (理学療法学科) |
| 5号館 | 保健医療学部 (看護学科) |
| 6号館 | 人間発達学部 (心理学科) |
| 7号館 | 薬学部 |
| 8号館 | 人間発達学部 (子ども教育学科)
子ども家族支援センター |
| 9号館 | キャリアサポートセンター
教職支援センター
ボランティア市民活動センター
国際交流センター |
| 10号館 | 農学部 |
| 11号館 | カウンセリングルーム (休室中) |

令和8年度前期大学バス時刻表【平日運行】
令和8年4月1日(水)～8月7日(金) 土日祝祭日は運休

朝の高崎駅発混雑時で列を離れての次発バス待ちはご遠慮願う場合があります

2026年3月16日 改訂

高崎駅発	8号館着	8号館発	高崎駅発着	紫寮着	紫寮発	8号館着
7:40	8:00					
7:50	8:10					
8:00	8:20					
8:10	8:30					
8:20	8:40				8:30	8:45
8:20	8:40					
8:30	8:50					
8:30	8:50	9:20	9:40			
8:30	8:50	9:40	10:00			
		9:45		10:00	10:00	10:15
8:40	9:00	9:55	10:15			
9:00	9:20	10:45	11:05	11:15	11:15	11:30
9:30	9:50	10:55	11:15	11:25	11:25	11:40
9:50	10:10					
		11:05		11:20	11:20	11:35
		11:30	11:50			
		11:40	12:00			
		11:55		12:10	12:10	12:25
10:00	10:20	12:00	12:20			
10:10	10:30	12:30	12:50	13:00	13:00	13:15
10:20	10:40	12:40		12:55	12:55	13:10
		12:40	13:00			
11:20	11:40	12:50	13:10	13:20	13:20	13:35
12:00	12:20	13:00	13:20	13:20	13:30	13:45
12:10	12:30	13:30	13:50	14:00	14:00	14:15
12:20	12:40					
12:30	12:50	14:00	14:20	14:30	14:30	14:45
13:00	13:20	14:30	14:50	15:00	15:00	15:15
		14:40	15:00	15:10	15:10	15:25
13:50	14:10	14:50	15:10	15:20	15:20	15:35
14:00	14:20					
14:10	14:30	15:00	15:20			
		15:20	15:40	15:50	15:50	16:05
14:20	14:40					
		16:30		16:45	16:45	17:00
15:20	15:40	16:30	16:50			
		16:40	17:00			
16:00	16:20	16:50	17:10			
		17:20	17:40	17:50		
		18:20		18:35		
		18:20	18:40	18:50		
		19:20	19:40	19:50		
		20:10	20:30	20:40		

※8号館発 17:20以降の紫寮発はありません。
※道路状況により到着時間が前後する場合があります。
※必ず学生証を提示してください。

学生教育研究災害傷害保険について

入学時に学生皆様にご加入いただきます、学生教育研究災害傷害保険（学研災）・学研災付帯賠償責任保険（付帯賠償）についてご案内致します。

この保険は学生個人に対して保険証券を発行しておりません。「しおり」が保険証券の代わりとなりますので、下記にございます二次元コードより万一の場合に備えて、ご一読ください。

また、新入生ガイダンスにて、しおりの冊子を学生に配布致しますのでお手元にて保管していただきますようお願いいたします。

ご不明な点等ございましたら、所属学部事務室までお問合せ下さい。よろしくお願いいたします。

○学生教育研究災害傷害保険（学研災）



URL :

<https://www.jees.or.jp/wp-content/uploads/2025/10/5866ef05f084497fa703ebf390e86007.pdf>

○学研災付帯賠償責任保険（付帯賠償）



URL :

<https://www.jees.or.jp/wp-content/uploads/2025/10/ec014b22533a600c1c7943e2239661cf.pdf>